

第2回印西市教育振興基本計画策定委員会 会議録

| | | |
|-----------|---|--|
| 会 議 名 | 第2回印西市教育振興基本計画策定委員会 | |
| 日 時 | 令和3年9月27日(月) 午後2時00分から午後4時30分まで | |
| 場 所 | 印西市役所会議棟2階 204会議室 | |
| 出席者氏名 | 委 員 | 加藤委員(委員長)、井上委員(副委員長)、内田委員、岡田委員、長岡委員 高城委員、三城委員、一島委員、塩田委員、石川委員 |
| | 事務局 | 大木教育長 高橋教育部長 教育総務課 坂巻課長、五代課長補佐、荒川係長、浅野主査補、金丸主任主事 ジャパン総研 竹澤 |
| 欠席者氏名 | なし | |
| 傍 聴 | なし | |
| 議 題 | 1 開 会 2 議題 (1) 印西市教育振興基本計画素案について (2) その他 3 その他 4 閉 会 | |
| 配 付 資 料 名 | 第2期印西市教育振興基本計画【令和4年度～7年度】(第1次素案) | |

(五代課長補佐が進行、会議について説明、傍聴者の途中入室許可、配布資料確認)

議 事

1 開会

2 議題

(加藤委員長挨拶)

(議事録署名人を内田委員に指名)

(1) 印西市教育振興基本計画素案について

(「第2期印西市教育振興基本計画【令和4年度～7年度】(第1次素案)」により事務局が説明)

委員長： ご意見、ご質問等はあるか。

委員： 2ページで、主語、述語を考えると前の並びの方がよかった。世界の情勢が先で、国内の情勢を後にするとよい。また、「そして、希薄化するコミュニティ～」の「そして」は「また一方で」という表現の方が良いと思う。

委員： 「国内の情勢は、」と「世界の情勢としては、」の後の「、」を取っても良いのでは。

事務局：並び替えを検討します。

委員：3ページ、関係図、国のところ、学校教育法がないので入れた方が良い。

事務局：記載いたします。

委員長：4ページ以降はどうか。

委員：12ページ、SDGsについて関係しているものを太枠としているが、3と5も深く関連すると考える。太枠にした方が良いと思うが。

委員長：追加について事務局で検討願います。

事務局：承知しました。

委員長：13ページ以降はどうか。

委員：まず、14ページ、印西市の現状と課題について市の計画に沿って記載しているのはわかるが、なぜか(1)学校教育だけは市の計画の記載と違う載せ方をしている。それが悪いわけではないが、誰かに聞かれたときに違う記載方法をした理由を説明できるようにした方が良い。

①小・中学校教育の1つ目の文面の最後に「未来を拓く子どもを育むまちを目指しています」とあるが、学校教育でまちを目指しているという表現はおかしいので、学校教育の視点にした方がよい。

不登校の児童生徒のうちの項目、適応指導教室等を経て登校できるようになる子は一部に止まっており、とあるが、様々な背景や状況があるため、もう少し表現を変えてみてはどうか。

最後の項目、経年劣化が進行している～のところ、施設改修の話なので教育環境にしても良いのではないか。

委員長：その他ご意見は。

委員：4つ目の項目の学習指導員や介助員の話と、5つ目の項目のきめ細やかな指導支援の話は、同様の内容なので一つの項目にまとめても良いのではないか。また、児童生徒の発達相談・支援体制のところ、このままだと心理学的なイメージの表現となるので「発達」を取った方が良い。

委員：人材・人員確保となると、教育環境に記載の項目でも良いのではと思う。

(2)教育環境、4つ目の項目、GIGAスクールの話だが、最後の文面「情報活用能力を高める教育を進めることが課題となっています」とあるが、子どもたちは既に使い始めており、SNSによるいじめの問題なども出てきているため、急務とした方が良い。

その下の項目、「自分の命は自分で守る」の後、市の計画では入っているので、「防災」を入れて防災意識とした方が良い。

最後の項目の最後のところ、「学校を核とした地域づくりに努める」とあるが、学校は協力はできるが直接地域づくりはできないので、そこを「これからも情報発信に努める」にした方が良いと思う。

委員：わたくしも同じで、違和感を感じた。

委員長：その他どうですか。

委員：八街市の事故を受けて、通学路の安全確保の話を入れてほしい。この後46ページに安全な通学路の整備について記載あるが、項目の追加の要望です。

委員長：その他よろしいか。

16ページ以降はどうか。

委員：17ページの②青少年健全育成の2つ目、コミュニティスクールのことが書かれているが、どのようににやるのか。学校経営や人事に地域の人たちが意見を出せることになる。

事務局：国で進めていることであることから、県も推進することになり、市でも考えなければい

けないことであるから記載したものである。

委員：コミュニティスクールとはどういったものか説明いただきたい。

事務局：（コミュニティスクールの概要を説明）

事務局：（補足説明）

委員長：よろしいでしょうか。

委員：理解しました。

委員長：その他、意見等は。

なければ事務局で今の意見を踏まえ検討願います。

続いて、20ページから23ページでどうか。

委員：21ページのイメージ図は、学校と家庭をつなぐ線がない。

委員：イメージ図はイメージを持たせるものであるのに、複雑にしたことでわかりにくくなっているのではないか。

委員：23ページのイメージ図が他と比べると細かすぎるのではないか。細かいイメージ、大枠のイメージどちらでも良いので、基本方針1、2、3とイメージ図の統一感を図ってほしい。

事務局：次回ご提案いたします。

委員長：24ページ、基本目標、これ以降は前回骨子案にはなく、今回素案から追加された部分です。ご意見等、いかがでしょうか。

委員：24ページ、基本目標Ⅱの方向性、児童・生徒が増加する本市においてのところ、減少している地域もあるので取ってよいと考える。また、その最後、情報活用能力の向上の取り組みを、のところ、目標と方向性として記載するには個別具体過ぎる。

委員：これについては、市の計画にその通り記載されており、市の計画を参酌しているのであればそのまま仕方ないと思う。

委員長：29ページ以降はどうか。

委員：30ページ基本目標Ⅰ、知・徳・体とあるが、その下基本目標の方向では「知」と「徳」だけで「体」がない。なにか体づくりの項目を入れてはどうか。

事務局：検討いたします。

委員：目標指針の学校評価のところ、どうやって子どもたちの評価をするか。

委員：経験していたので私から。ここに記載されていないが、市の計画で評価方法が別途記載されていたと思うので、補足で記載した方が良いと思う。

事務局：確認してそのようにいたします。

委員：31ページ、「★」印は重点的な取組とあるが、事業名称の後につけるとわかりづらい。番号の横に移動するなど見やすくした方が良い。

事務局：わかりやすくなるよう修正いたします。

委員：主な取組1の子どもたちの学ぶ力を育むの7働き方改革の推進、これは人的な環境なので、Ⅱの教育環境に入れた方が良いのではないか。

事務局：検討いたします。

委員：1の道徳教育の充実、いまの道徳とはどういうものか。

委員：私から。以前は教科外活動であった道徳ですが、今は教科となりました。文章や映像などの内容について、児童生徒が話し合う授業になっています。

委員：わかりました。

委員：教職員の研修についてはどう行われているのか。以前聞いた話だが、子どもたちが何かの役員決めで、6名募集のうち7名立候補があったと。先生は、7人の子たちに、みんなの前でその役員立候補への気持ちを話す機会を設け、最終的に多数決で選ぶことになったと。

ここまでは良かったのですが、その方法が、候補者は黒板の方に向いて、一人3票の手上げ方式、しかも手を挙げる子どもたちは伏せるなどせず自席で手挙げ。この方法が本当に取られたのか確認したら、そのように行っただと。この方法だと、〇〇さんが〇〇さんの時に手を挙げたから私も、などと周りの友達につられてしまう状況となり、非常に良くない方法だと思った。伝えたいことは、そういった面でも教職員の研修もしっかり行ってほしいということ。

委員：教職員の研修は、教育センターで行っている。教科指導方法等以外にも教職員としての研修も行っているはず。

委員：32ページ、主な取組の方向性、最初の項目、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教職員の研修」ここで、この内容を聞かれたら答えられるようにしておくべき。

委員長：よろしいでしょうか。

事務局は研修内容を説明できるようにお願いします。

他には。

委員：33ページ、真ん中の校内研修の支援、授業研修以外にも教科指導、特別支援、保健などもあるので記載した方がよい

一番下、働き方改革の推進について、働き方改革で早く帰宅しようにも、やらなければならない仕事を残して帰るわけには当然いけないので、例えばアシスタントを採用するなどして教員一人一人の業務量を減らすことが必要。

34ページ一番下、学校図書館の環境整備と機能の充実のところ、読書活動が入っていない。

35ページ特別支援体制の充実のところ、教育内容、中身をいれてはどうか。

委員：就学指導の推進については、今はあまり「就学指導」という言い方はしなくなっているのではないか。

委員長：事務局いかがでしょうか。

事務局：担当課と調整し検討いたします。

委員長：36ページから、40ページまで、いかがでしょうか。

委員：37ページ郷土愛を育む教育の推進、各小中学校に設置している歴史資料室の内容の充実について、ニュータウンなど児童生徒が多い学校で教室が空いていない学校もあり難しい。そういう学校に配慮して「地域資源の活用」や「地域人材との交流」ではどうか。

委員：「木下交流の杜歴史資料センターの活用」などとしてもよいのではないか。

事務局：持ち帰って検討します。

委員：37ページ、教育相談の充実の中のスクールカウンセラー等の活用、どうやって活用するのか。実際、各学校にカウンセラーはいないので、活用ではなく充実とした方がよいのでは。

教育長：スクールカウンセラーは県の方で配置となるので難しい。市で非常勤等で採用する方法もあるが予算的にできないところ。現在、配置されている学校から、要望のあった学校に出向いて対応しているところである。よって、活用と表記させていただきたい。

委員長：よろしいでしょうか。

そのほか。

委員：39ページ、新型コロナウイルス感染症のこともあるので、感染症の対応について明示した方がよい。

事務局：そのようにいたします。

委員長：では、41ページ基本目標Ⅱ、ご意見等どうか。

42ページ、目標指針のところ、先と同様、評価の注釈を入れた方がよい。また、重点

的な取組の★を出すということで。

委員：45ページ、情報化社会に対応した教育の推進について、主な事業はICT環境の整備と情報教育の推進に分けた方がわかりやすくなると思う。

事務局：そのように整理いたします。

委員長：そのほかよろしいか。

48ページ、基本目標Ⅲ、こちらも重点取組の★は出すとして、ご意見等あるか。

特に無ければ、次に54ページ、基本目標Ⅳについて、これも重点取組の★は出すとして、ご意見等あるか。

委員：50ページ、主な取組の方向に、（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設に多目的ホールやギャラリーを整備するとあるのに、主な事業に記載がない。入れたほうがよいのではないか。

委員：56ページ、多様な学習機会の提供では、どこかに年配のかたとか向けに、例えば、ワクチンパスポート、運転免許証などのデジタル化に向けた研修、SNS被害予防等の講習会を行ってほしい。

委員：60ページ、こども110番の家の推進、現在の運営状況の把握とその要否を検討した方がよい。

事務局：現在の状況については次回ご報告いたします。

委員：青少年健全育成大会も良いが、義務教育が終了する中学卒業から18歳までの相談窓口が必要である。

委員長：事務局は意見を踏まえご対応願います。

63ページ、計画の推進についてはどうか。

特になければ終了とするが、お気付きの点等については、ご意見シートの提出をお願いする。

3 その他

事務局：次回の策定委員会は、10月下旬を予定する。

意見等がある場合は、ご意見シートの提出をお願いする。

4 閉会

（五代課長補佐が閉会）

以上

第2回印西市教育振興基本計画策定委員会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和 3 年 11月 16日

印西市教育振興基本計画策定委員会

委員 内田 圭子